



橋本龍太郎元総理がネパールDMSPプロジェクトをご視察

綱木亮介*

はじめに

ネパール王国の自然災害軽減支援プロジェクト（以下「DMSP」と略記）は、その前身の治水砂防技術センタープロジェクト（以下「DPTC」と略記）に引き続き、1999年9月から5年計画で開始されたプロジェクトです。ちょうどその半ばを迎えた1月15日（火）、橋本龍太郎元総理が当プロジェクトおよびモデルサイトをご視察されました。

今回の元総理の訪ネは1月14～17日という、決して長くはないご滞在でしたが、ネパール国王への謁見、デウバ首相との会談、カトマンズ市の友好姉妹都市である松本市および日本政府が援助して建設された武道館の竣工式へのご出席、橋本元総理がたびたび個人的なご支援をされているカンティ小児病院のご視察等の目的がございました。このようにご多忙な日程ではありましたが、15日には非常に長時間にわたって当プロジェクト等をご視察いただき、プロジェクトのみならず砂防事業全般に関する激励のお言葉も賜りましたので、その際の概要を紹介させていただきます。

DMSPにて

神長駐ネパール大使、三苦JICAネパール事務所長始め日本側の関係者も同席したDMSP（水資源省治水砂防局庁舎）での歓迎セレモニーでは、ネパール国水資源省の大臣、次官、治水砂防局長および筆者からの歓迎の挨拶・概要説明の後、元総理からご挨拶を賜りました。その中では、我が国では砂防部が中心となって国土保全にあたり砂防技術は完成されていること、元総理と元砂防部長の松下忠洋内閣府副大臣がネパールへの砂防の技術移転を実現させたこと、（初めのうちネパール側は技術移転に半信半疑であったが）DPTC・DMSPプロジェクトでは日本から派遣された技術者の良心が理解されて技術移転が推進されたこと、さらには専門家へのねぎら

*DMSPプロジェクト チーフアドバイザー

いのお言葉等を賜り、一同、大感激した次第です（写真-1）。



写真-1 歓迎セレモニーでの記念撮影

モデルサイトにて

その後、カトマンズ近郊のモデルサイトをご視察いただきました（写真-2、3）。カトマンズとインドとを結ぶ唯一の国道際で発生している風化岩斜面の崩壊（チサパニ地区）をご視察いただいた時には、脆弱で流れ盤の構造が卓越する状況を興味深くご覧になって、このような災害を受けやすいネパールの現状をご理解賜りました。また、パネルを使っでの説明にもご熱心に耳を傾けていただき、「砂防の現場でこれほどシステマティックな説明を受けたのは初



写真-2 モデルサイトで（1）



写真-3 モデルサイトで (2)



写真-4 昼食会で元総理と懇談するDMSP専門家



写真-5 昼食会後の記念撮影

めてです。」との有り難いお言葉もいただきました。

モデルサイトでの元総理は、時にご趣味のカメラを構えられ、幅の狭い擁壁の上を数10mも歩かれるなど、いかにも生き活きと楽しんでおられるようにお見受けできました。

昼食会にて

引き続き行われたDMSP主催の昼食会も、大使館を初めJICA関係の出席者50名余りを数えて盛況かつ和やかに催されました。出席者には、個別に派遣されている長期専門家はもちろんのこと、ネパール近郊で活躍する青年海外協力隊の面々も多数含まれていました。ブッフフェスタイルの昼食会でしたが、元総理を囲み出席者が何人かずつ代わる代わる懇談する場を設けました(写真-4、5)。初めは幾分ためらいがちだった出席者も徐々に大胆になり、終盤には、時間制限を大幅にオーバーするグループも出てくるような状況となりました。それぞれのグループの懇談の詳細についてまで把握したわけではありませんが、懇談の雰囲気から各出席者が大いに励まされたであろうことは容易に想像できました。

おわりに

さて、今回の元総理のご視察は、日本人スタッフはもちろんのこと、ネパール側にとっても大きな励みになったことは疑いもありません。このように、我が国の砂防技術や当プロジェクトが元総理からも高い評価を受けていることは、諸先輩が営々と築いてこられた成果の積み重ねの賜にほかなりません。当プロジェクトの専門家一同、このような評価に応え、これまでのいろいろな蓄積をさらなる飛躍に結びつけていきたいと考えていますので、今後ともご支援、ご指導のほどお願いいたします。

なお、今回の元総理のご視察に際しましては、長期専門家派遣についての業務の関係でちょうど訪ネされていた(財)砂防・地すべり技術センターの池谷専務理事にもご同行いただきました。そして、大使館の車に元総理と同乗されてお相手をしていただいたり、筆者からのご説明に対するアドバイスや種々の補足説明をいただきました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。また、当日の日程調整や設営においては、在ネパール日本大使を始めとする大使館の関係の方々およびJICAネパール事務所長を初めとする事務所の関係の方々にも大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。